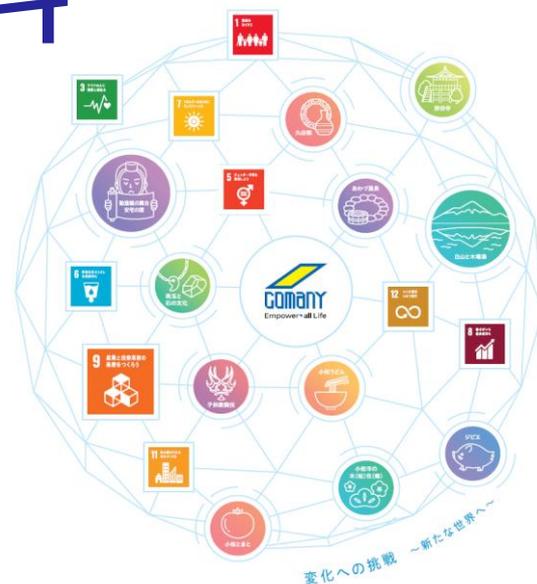


2021年3月期 決算説明資料



●事業内容

事業内容

●2021年3月期 連結業績の実績

2021年3月期の事業環境

パーティション市場動向

2021年3月期 実績

売上高の増減分析

営業利益の増減分析

市場セグメント別 売上高

四半期毎 受注高・売上高実績推移

市場セグメント別 受注残高

財政状態

キャッシュ・フロー

コロナ禍における取り組み

2021年3月期リリース商品

新商品

サステナビリティへの取り組み

気候変動への取り組み

●2022年3月期 連結業績の予想

パーティション市場予想

連結業績予想

売上高の増減要因（通期予想）

営業利益の増減要因（通期予想）

設備投資計画

P.1

P.2

P.4

P.5

P.6

P.7

P.8

P.9

P.10

P.11

P.12

P.13

P.15

P.16

P.17

P.18

P.20

P.21

P.22

P.23

P.24

P.25

P.26

P.27

●重点施策

重点施策 オフィス市場

重点施策 工場市場

重点施策 医療・福祉市場

重点施策 学校市場

重点施策 高耐震間仕切 Synchron

災害時リスク軽減への取り組み

●参考資料

社是・経営の理念

会社概要

沿革

タグラインの刷新

連結業績の推移（売上高・営業利益）

P.28

P.29

P.30

P.31

P.32

P.33

P.34

P.35

P.36

P.37

P.38

P.39

P.40

事業内容





すべての人が光り輝く人生を送るために、
より良く働き、より良く学び、より良く生きるための

CASE STUDIES

持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する



工場



医療・福祉



公共



学校





おかげさまで、コマニーは60周年。





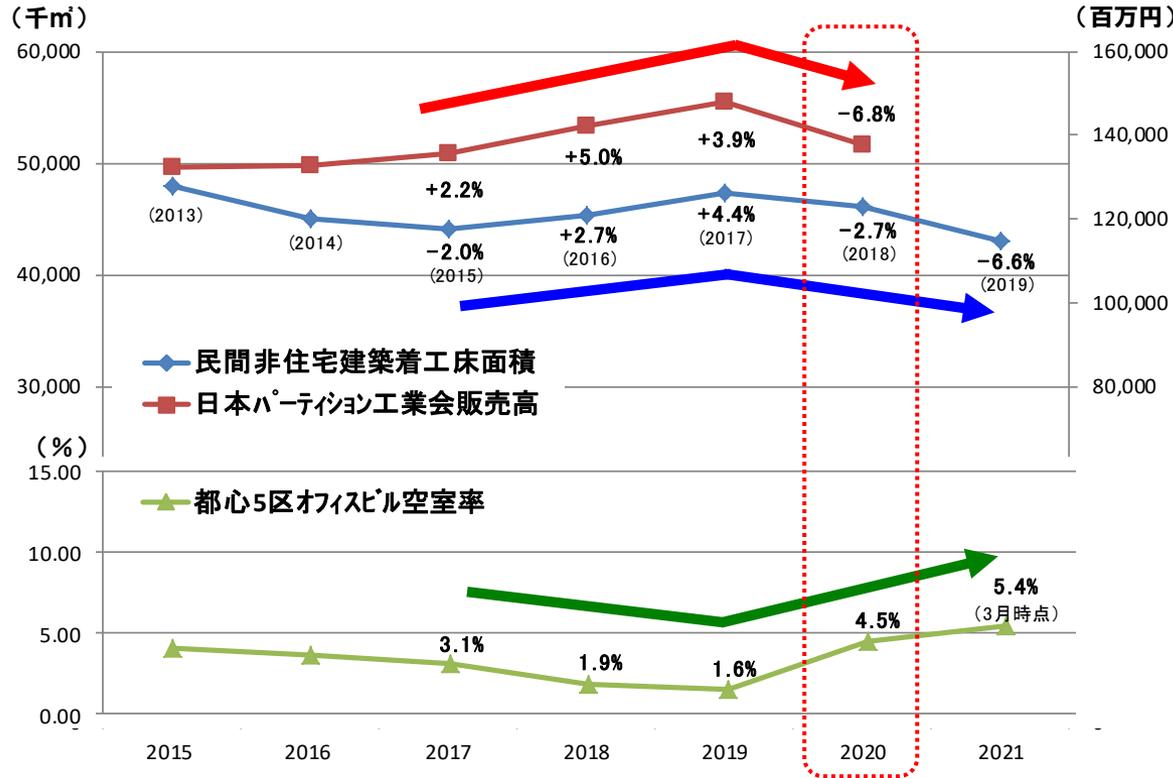
2021年3月期 連結業績の実績

新型コロナウイルス感染症による大きな影響

※4月の緊急事態宣言による影響大

- ・ 行動制限による受注活動の制限
- ・ 景気後退による企業収益の悪化
- ・ 企業の設備投資を控える動き
- ・ テレワークの推進や新たな働き方による
オフィス空間の見直し

パーティション市場動向



■ 主な指標

日本パーティション工業会販売高
民間非住宅建築着工床面積
都心5区オフィスビル空室率

民間非住宅建築着工床面積
2013~2019年まで3月時点の年計
⇒「民間非住宅建築着工床面積」の推移が2年後のパーティション市場に影響する想定

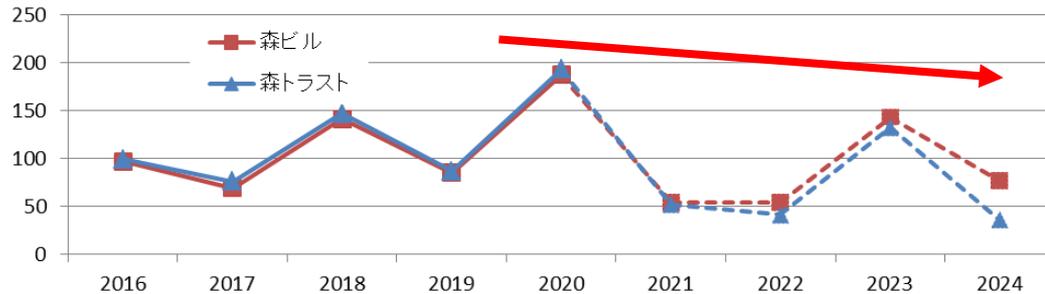
日本パーティション工業会販売高
12月時点の年計

都心5区オフィスビル空室率
12月時点の実績 (2021年のみ3月時点の実績)

■ 市場動向

- ・パーティション工業会の販売高が前期比△6.8%の減少
- ・都心5区オフィスビル空室率は上昇を続け5%を超える状況
- ・大型オフィスビルの供給も2020年をピークに減少傾向

東京23区大規模オフィスビル供給量調査



【参考】

- 民間非住宅建築着工床面積
http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html
- 日本パーティション工業会販売高
<http://www.jmpa.info/jmpa/index.html>
- 東京23区大規模オフィスビル供給量調査
<https://www.mori-trust.co.jp/pressrelease/2020/20200618.pdf>
https://www.mori.co.jp/img/article/200525_1.pdf

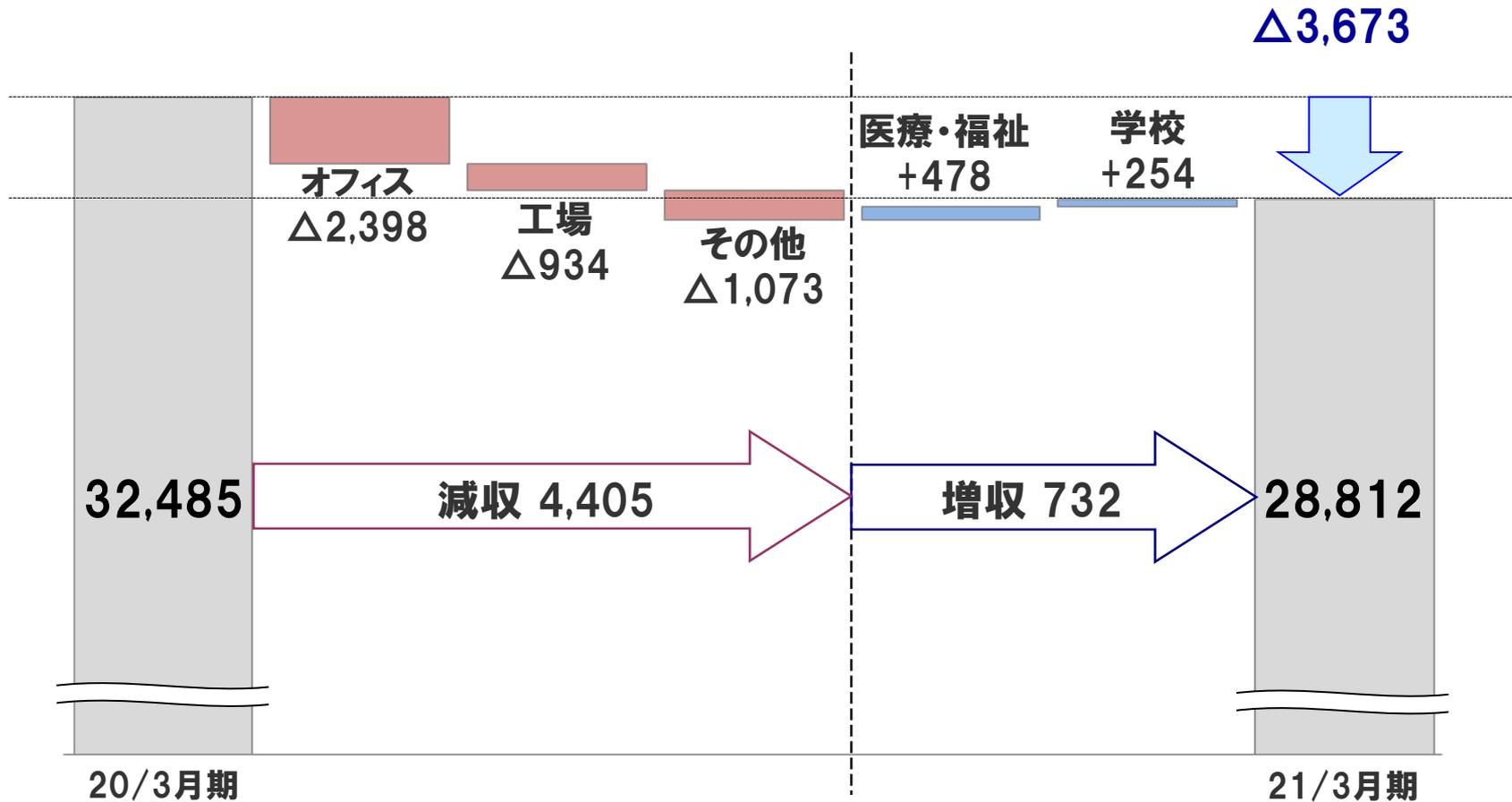
2021年3月期 実績

(単位:百万円)

	20/3月期	21/3月期			
		計画	実績	対前期	対計画
売上高	32,485	28,500	28,812	88.7%	101.1%
営業利益	1,715	800	1,169	68.2%	146.2%
営業利益率	5.3%	2.8%	4.1%	△ 1.2pt	+ 1.3pt
経常利益	1,566	850	1,376	87.9%	161.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	711	500	901	126.7%	180.3%
1株当たり 当期純利益(円)	79.93	56.13	101.25	21.32	45.12
1株当たり 配当金(円)	51.00	40.00	45.00	△ 6.00	5.00
フリーキャッシュ・フロー	2,667	—	3,204	120.1%	—

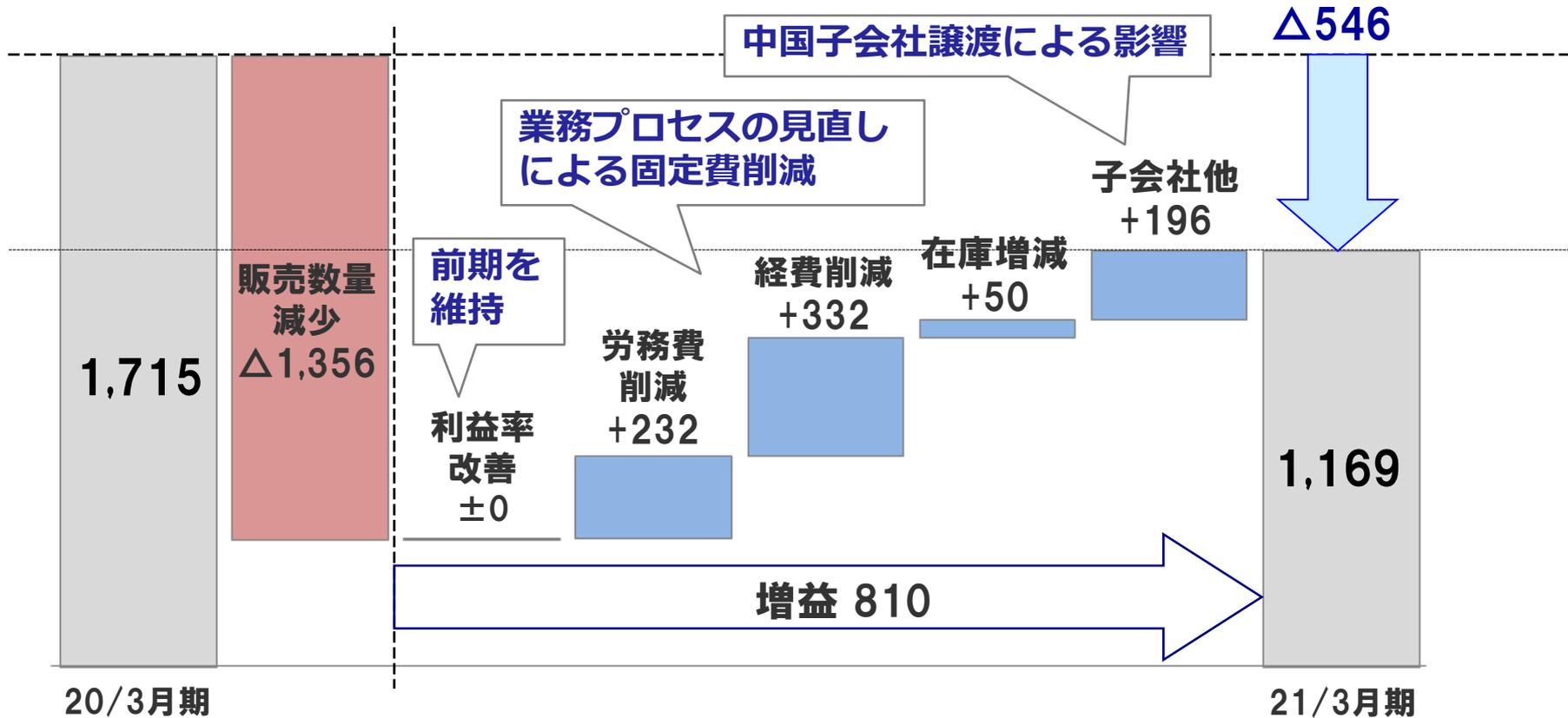
売上高の増減分析

(単位：百万円)



営業利益の増減分析

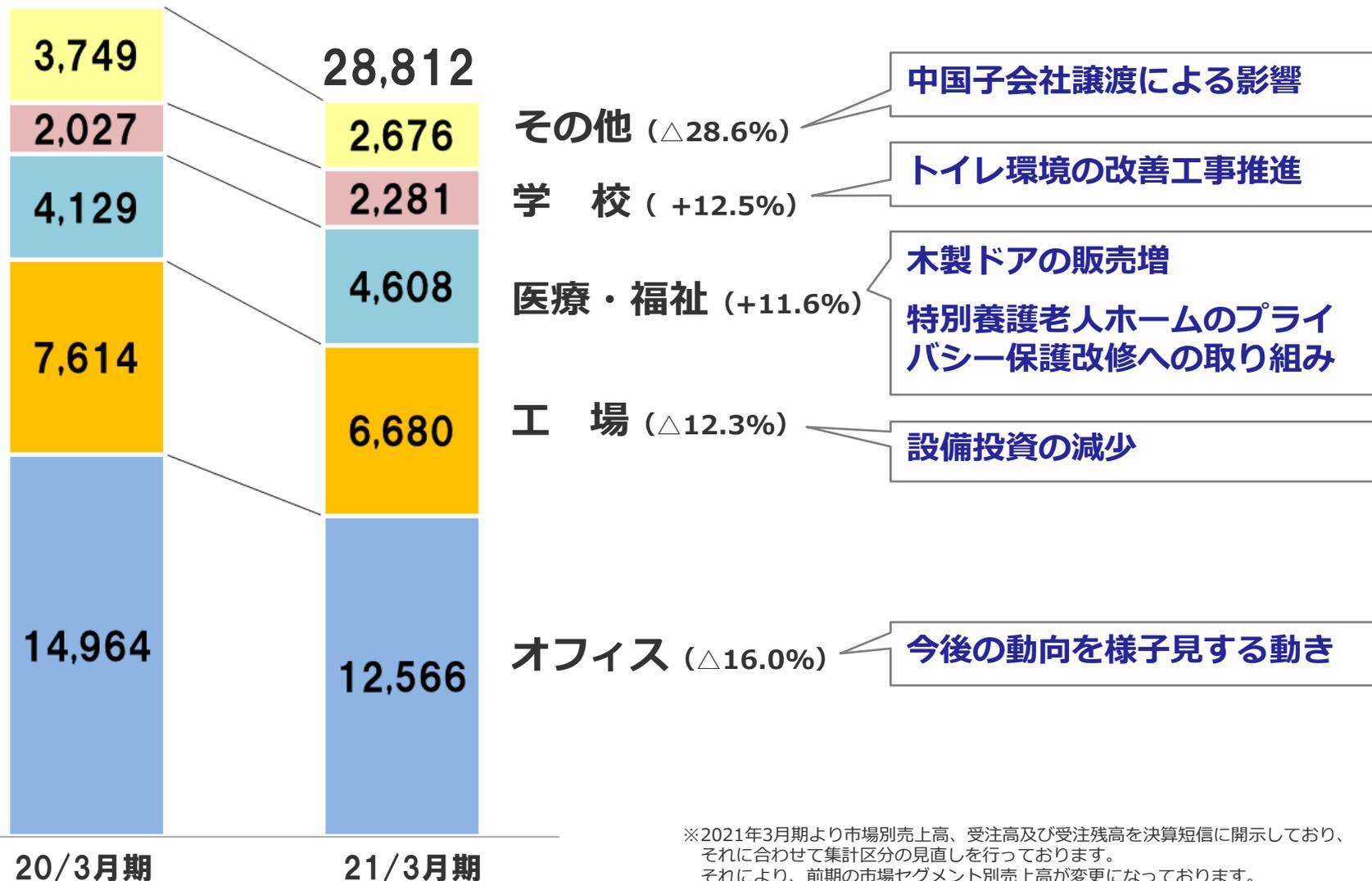
(単位：百万円)



市場セグメント別 売上高

32,485

(単位：百万円)



※2021年3月期より市場別売上高、受注高及び受注残高を決算短信に開示しており、それに合わせて集計区分の見直しを行っております。それにより、前期の市場セグメント別売上高が変更になっております。

四半期毎 受注高・売上高実績推移

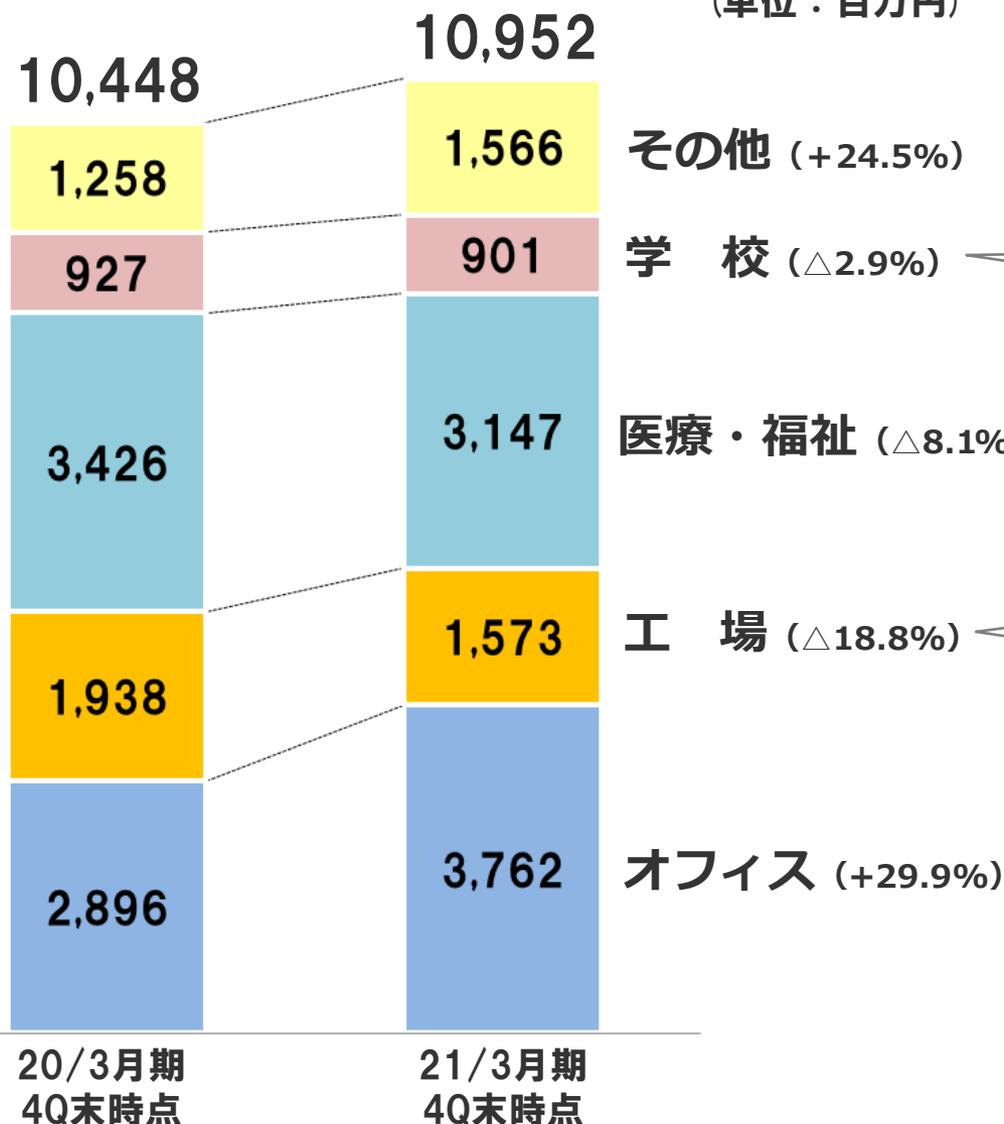
(単位:百万円)

【コマニー単体】		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2020年3月期	受注高累計	7,494	15,297	23,165	30,621
	四半期受注高	7,494	7,804	7,868	7,456
2021年3月期	受注高累計	6,698	14,122	21,860	29,314
	四半期受注高	6,698	7,423	7,739	7,454
	前期比(累計)	89.4%	92.3%	94.4%	95.7%
	前期比(四半期)	89.4%	95.1%	98.4%	100.0%
2020年3月期	売上高累計	6,489	13,955	20,723	31,739
	四半期売上高	6,489	7,466	6,768	11,016
2021年3月期	売上高累計	5,021	11,335	17,951	28,809
	四半期売上高	5,021	6,315	6,616	10,858
	前期比(累計)	77.4%	81.2%	86.6%	90.8%
	前期比(四半期)	77.4%	84.6%	97.8%	98.6%

前期並みまで回復

市場セグメント別 受注残高

(単位：百万円)

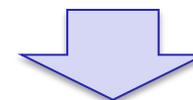


ほぼ前年並みの状況

感染症対策による引き合いも若干
落ち着いた状況により減少

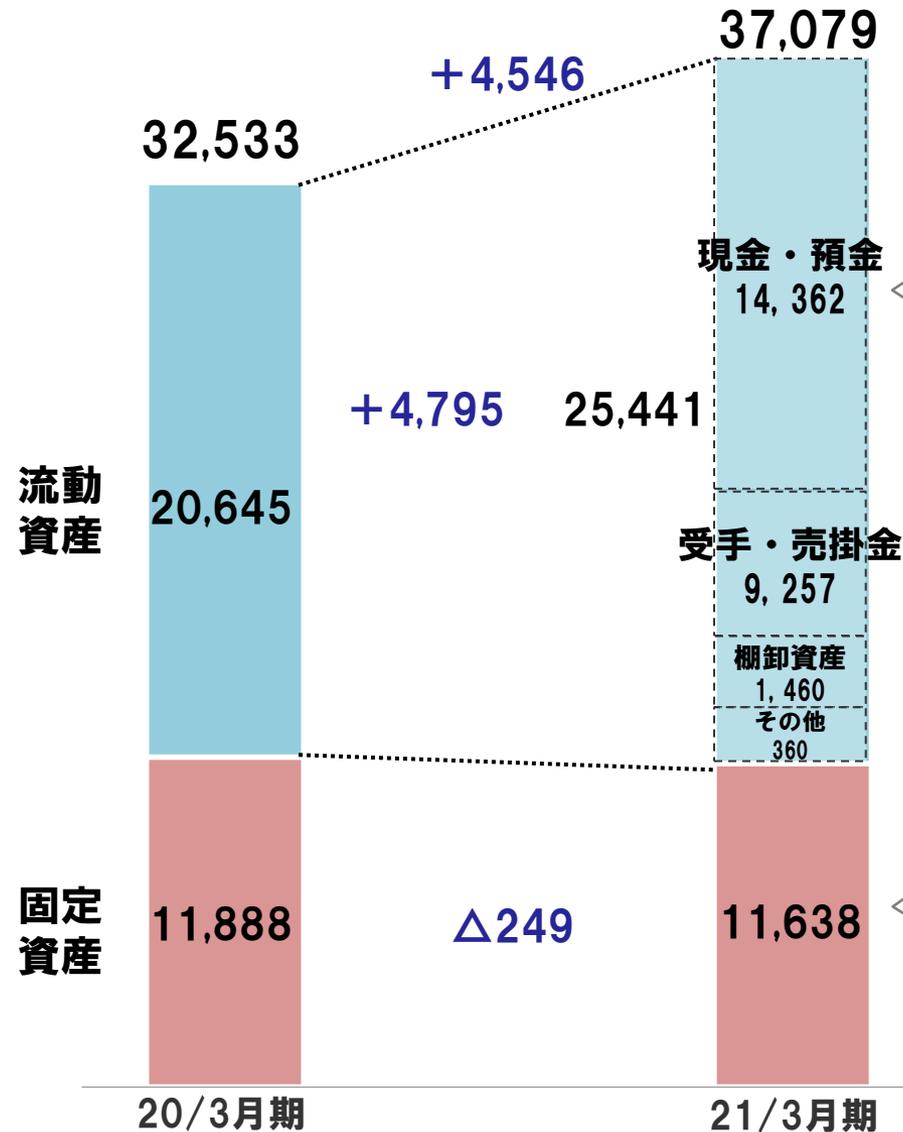
クリーンルーム関連の引き合いが
減少傾向

新たな働き方やオフィス空間の見
直しによるニーズ増



市場別にバラつきはあるものの、
全体としては回復傾向

総資産 (単位：百万円)



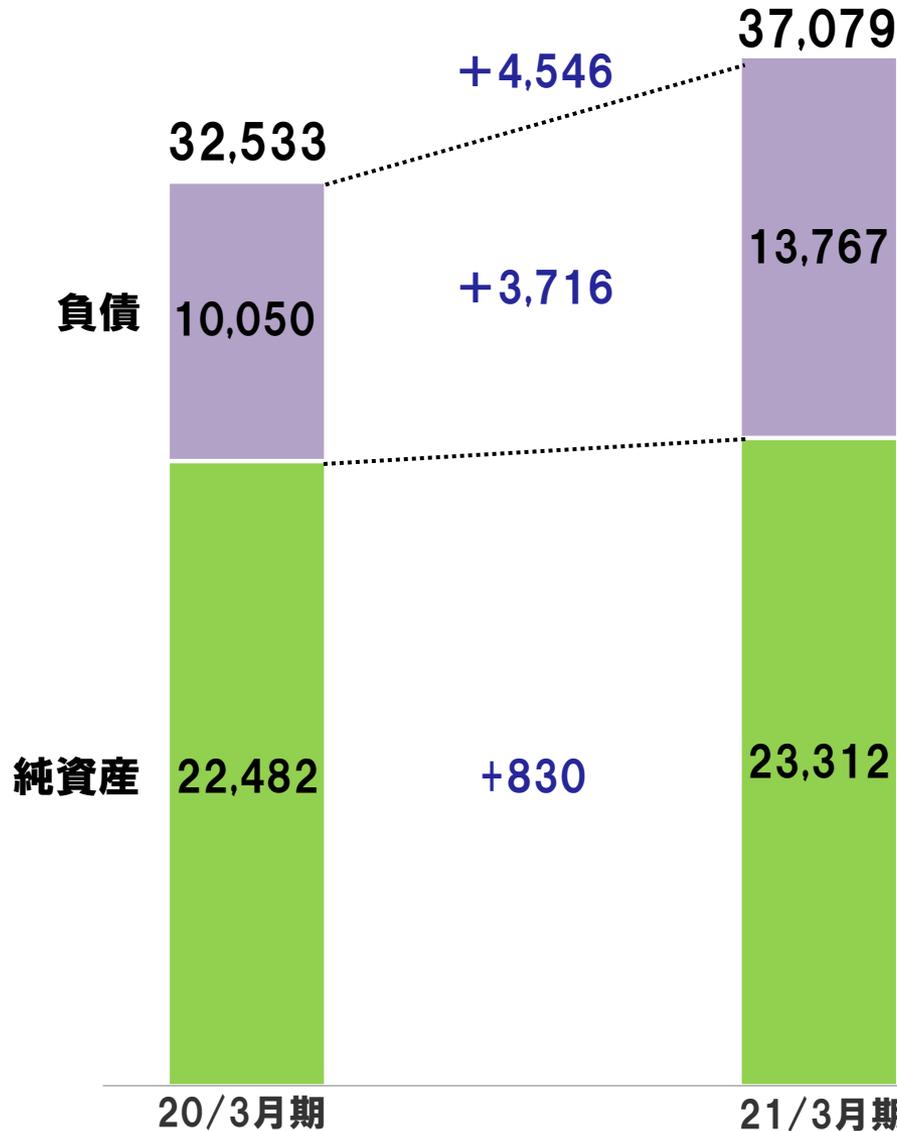
主な増減

- ・ 現金及び預金 +6,125
- ・ 流動資産その他 △888
- ・ 受手及び売掛金 △451

主な増減

- ・ 設備投資 805
- ・ 減価償却費 △780
- ・ 投資その他の資産 △260

負債・純資産 (単位：百万円)



主な増減

- ・長期借入金 +3,250
- ・未払法人税等 +272
- ・買掛金 +241

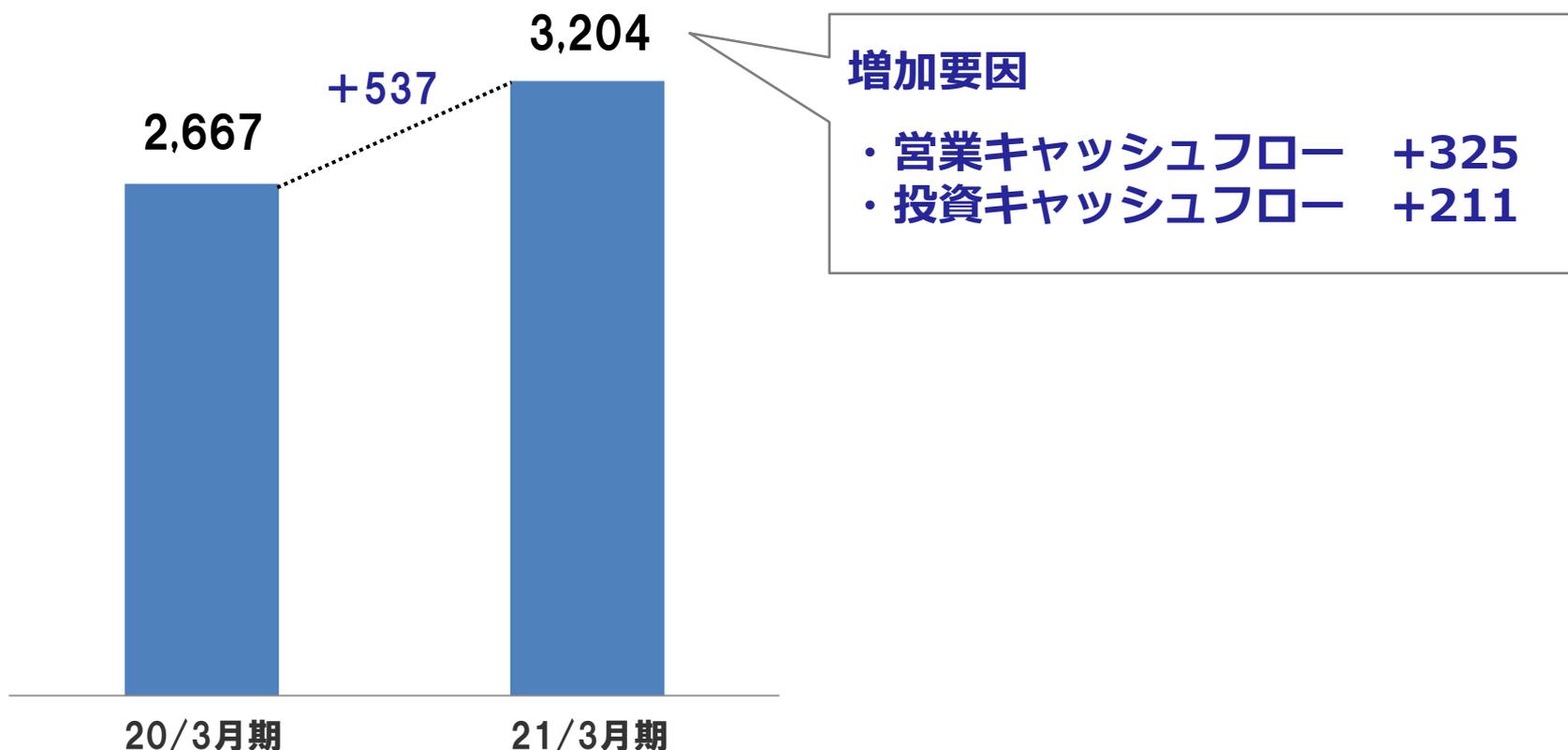
主な増減

- ・利益剰余金 +536
- ・その他有価証券評価差額金 +149
- ・退職給付に係る調整累計額 +141

自己資本比率
62.9% (△6.2pt)

フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



● 新たな商品・サービス

働き方の変化

テレワークの推進

新しいワークスタイルの拡大
オフィスに求められる価値の変化

ライフスタイルの変化

「快適、安心・安全な生活」 + 「感染予防」
物理的に「仕切る」ということの価値が見直される

サステナビリティ

事業と社会貢献の一軸化

事業活動の成果と世の中への貢献のつながり
※SDGsの取り組み

2021年3月期リリース商品



木製学校間仕切
SPart-W



飛沫感染防止間仕切
U/P



デスク付き個人ワークブース
Remote cabin



FSC®認証材トイレブース
CB-FSCAR



防災設備付き
ワークブース



ウイルスを不活性化、感染を防止する液体
Health Bright Evolution



どこでもブース
KAKOU



データセンターアイテム
C-POD



デスク付き2人用ワークブース
Remote cabin W



室内や家具等に塗布することで、空間全体のウイルスを5分程度で不活性化させる効果のある天然ミネラル100%の液体

「Health Bright Evolution」

(ヘルス ブライト エボリューション)



- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------------|
|  | 抗ウイルス | 接触感染するインフルエンザウイルスなど5分で不活性化 |
|  | 抗菌 | 食中毒の原因とされる大腸菌、黄色ブドウ球菌など予防 |
|  | 防カビ | カビの増殖を抑制 |
|  | VOC分解 | ホルムアルデヒドなどVOC(揮発性有機化合物)を分解 |
|  | 防汚 | イオン導電性によりホコリが付着しにくくなります |
|  | 消臭 | 酢酸・ギ酸・硫化水素など、臭いの基となる物質を分解 |



個人でのオンライン会議や集中空間などオフィスでの新しい働き方に対応したデスク付き個人ワークブース

「Remote cabin(リモートキャビン)」



新しい働き方を応援する第2弾
デスク付き2人用ワークブースを発売

「Remote cabin W(リモートキャビン ダブル)」

消防法にも適合した天井クローズド仕様を Remote Cabinの追加オプションに設定

サステナビリティへの取り組み

- SBTイニシアチブから新基準で認定を取得
- パートナーシップ構築宣言を作成・公表
- こまつ・やさしい職場づくりネットワークへの取り組み
- 女性のエンパワーメント原則（WEPEs）に署名
- 65歳定年制を廃止
- オンラインイベント「COMANY SDGs WEEK」開催
- 「D&Iについて考える」イベントを開催
- 健康経営への取り組み



【SBT認定取得に伴い設定した目標】



総量目標

2030年までに2018年比でScope1+2（自社）における二酸化炭素排出量を50%削減することを約束します

サプライヤーエンゲージメント目標

購入した商品やサービスを対象とした排出量の80%に相当するサプライヤーに、2024年までにSBT基準に沿った目標設定していただくことを約束します

【再エネ100宣言 RE Actionにコミットした目標】



再エネ率

2024年：30% 2027年：40% 2030年：50% 2040年：100%

2022年3月期 連結業績の予想



- パーティション市場は横ばいから緩やかな回復を予想
- ポストコロナ時代における新たな「働き方」に対応するためのオフィス移転やリニューアルに期待
- 各市場において、新たな働き方や学び方、生活様式の変化による新たな需要が生まれる



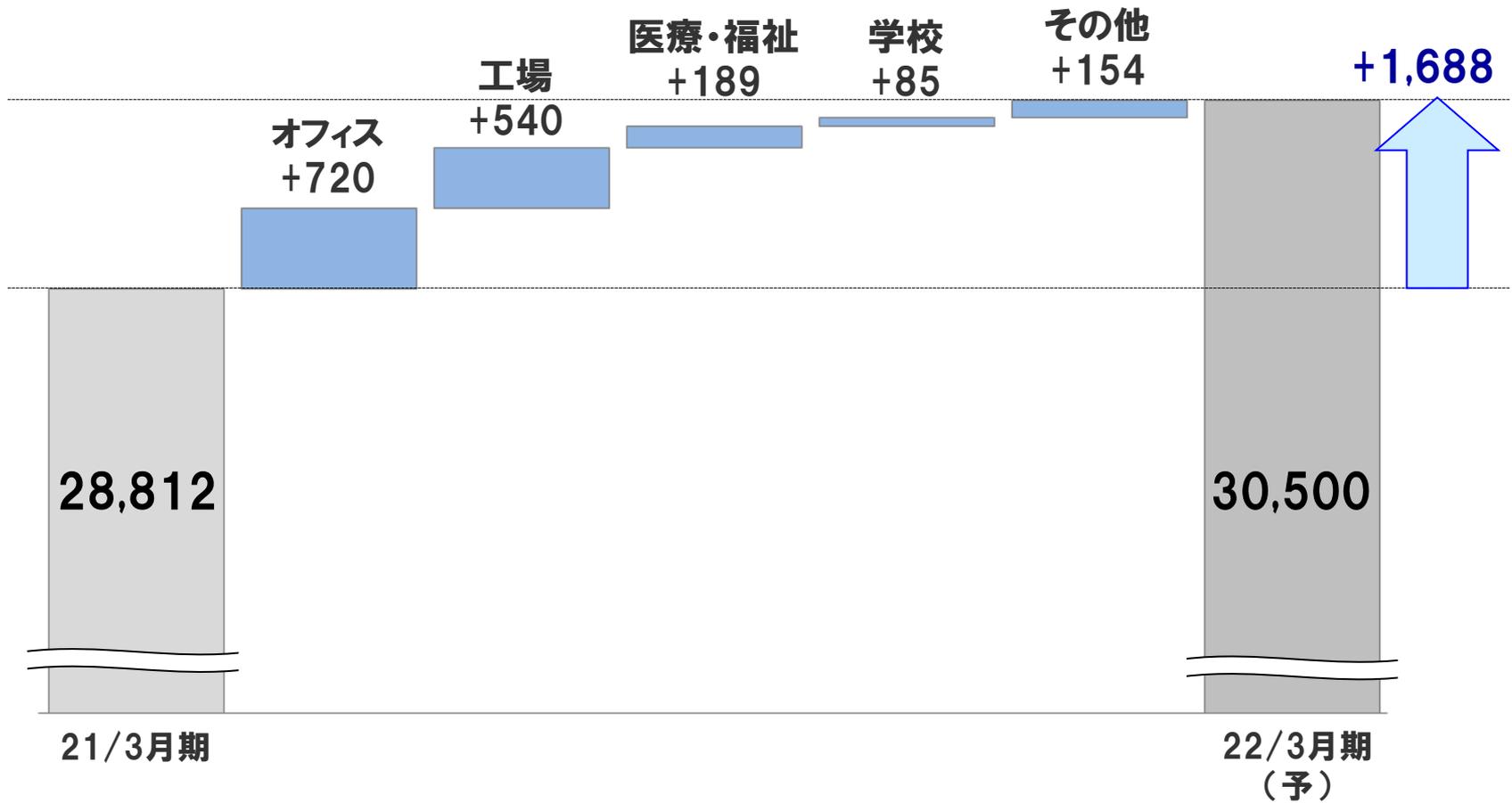
**市場の変化や新たな需要に対応し売上高を確保
安心・安全な「空間づくり」に貢献**

(単位:百万円)

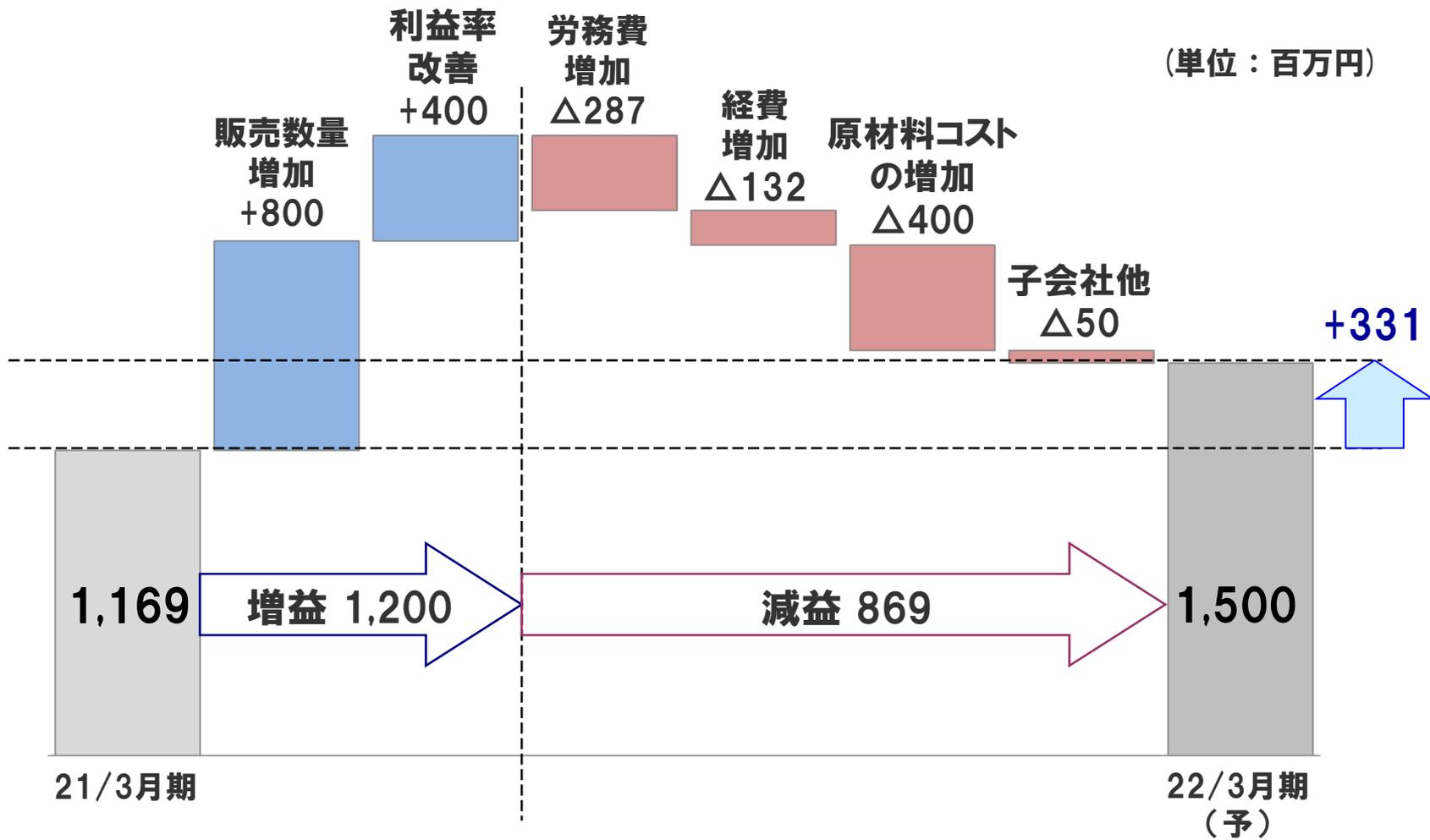
	21/3月期 (実績)	22/3月期	
		計画	対前期
売上高	28,812	30,500	105.9%
営業利益	1,169	1,500	128.3%
営業利益率	4.1%	4.9%	+0.8pt
経常利益	1,376	1,540	111.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	901	1,000	110.9%
1株当たり 当期純利益(円)	101.25	112.26	+11.01
1株当たり 配当金(円)	45.00	50.00	+5.00

売上高の増減要因 (通期予想)

(単位：百万円)

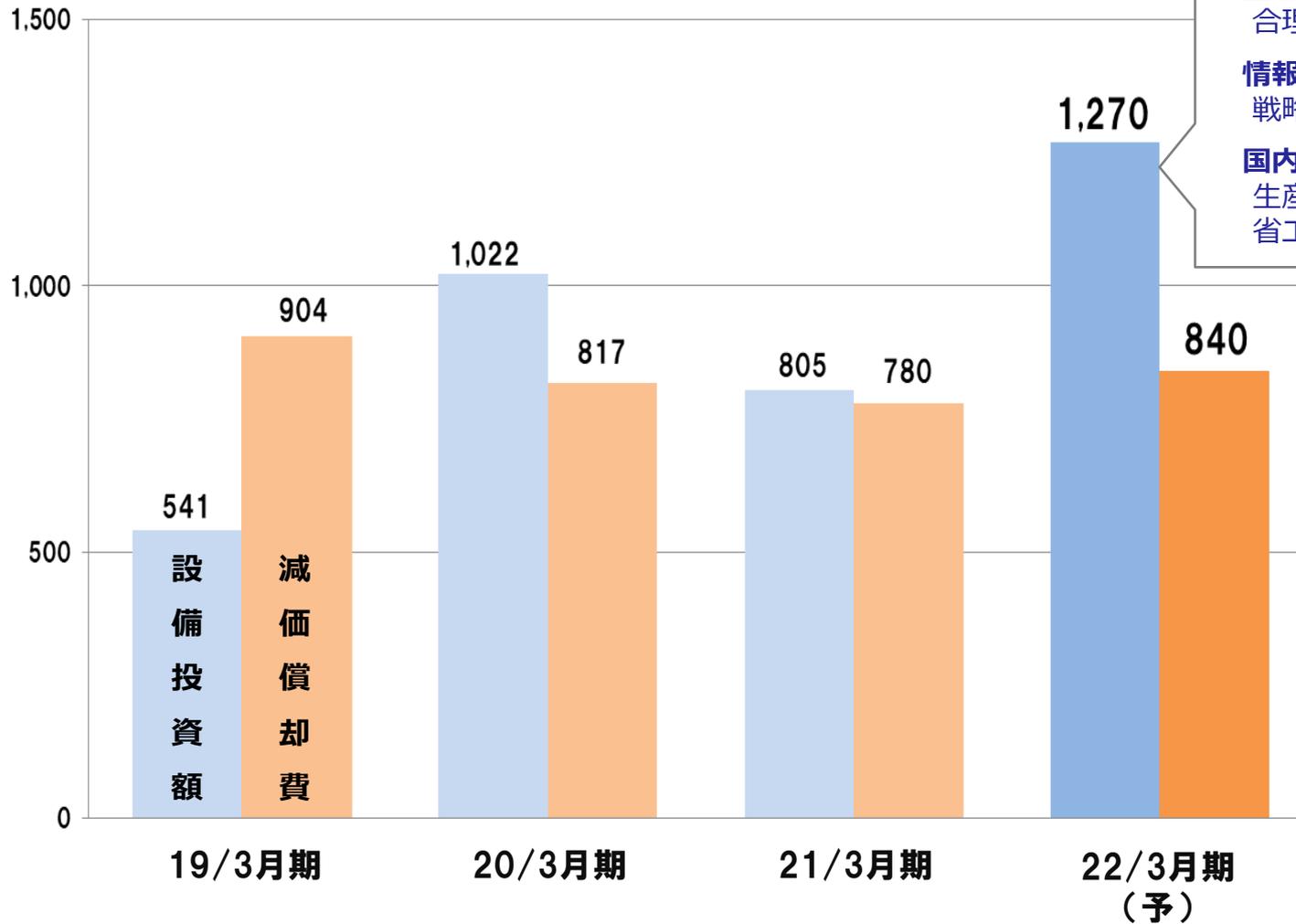


営業利益の増減要因 (通期予想)



設備投資計画

(単位：百万円)



【主な内容】

生産設備 10億円
合理化、能力拡大

情報システム 2億20百万円
戦略投資、老朽化対応

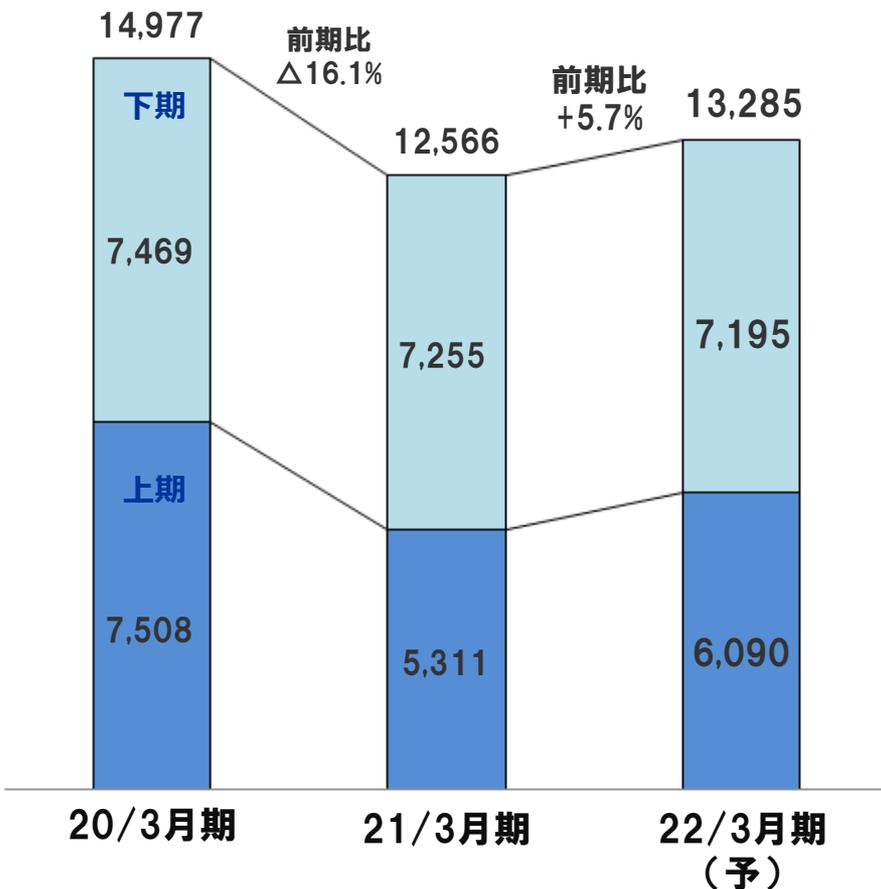
国内子会社 50百万円
生産設備合理化・老朽化、
省工ネ・環境対応



重点施策

【オフィス市場 売上高計画】

(単位：百万円)



- 働き方の変化や感染予防対策といったお客様のニーズに合わせて、前期発売した新商品も交えながら、パーティションによる新しいオフィスのあり方を提案

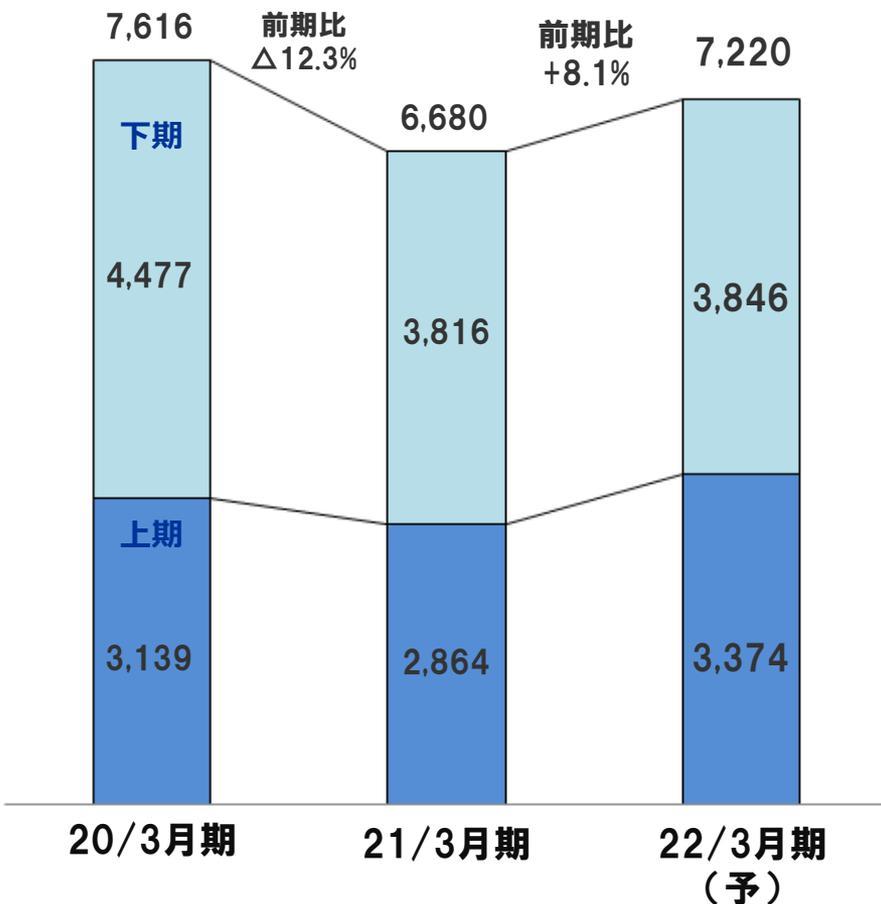


デスク付き個人ワークブース
「Remote cabin (リモートキャビン)」



【工場市場 売上高計画】

(単位：百万円)



- ・ Synchronによる企業のBCPに対する提案
- ・ 強みであるクリーンルームパーティションの販売強化



クリーンルーム施工事例

【医療・福祉市場 売上高計画】

(単位：百万円)



- ・納入実績のある施設に対して感染症対策等の営業活動

(強みの木製ドア、パーティション+抗菌液体『Health Bright Evolution (ヘルスブライトエボリューション)』を切り口に提案)



抗菌、抗ウイルス液体
「Health Bright Evolution」



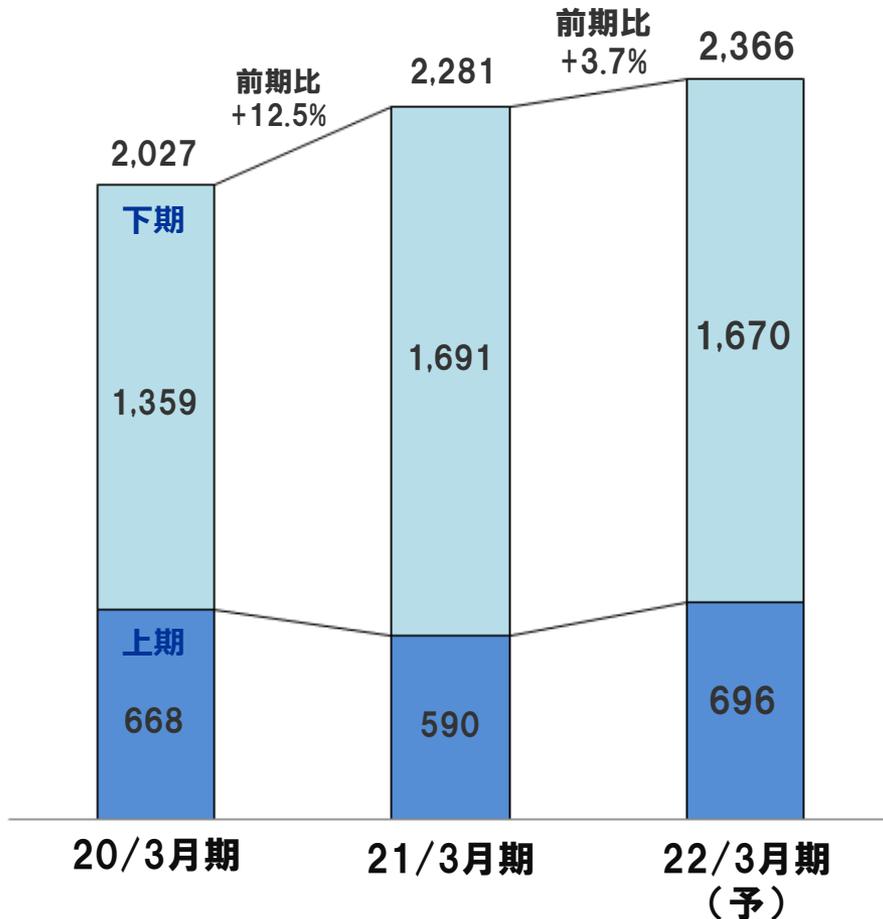
2019年度グッドデザイン賞
「やさしいドア」



「ベッド間仕切」

【学校市場 売上高計画】

(単位：百万円)

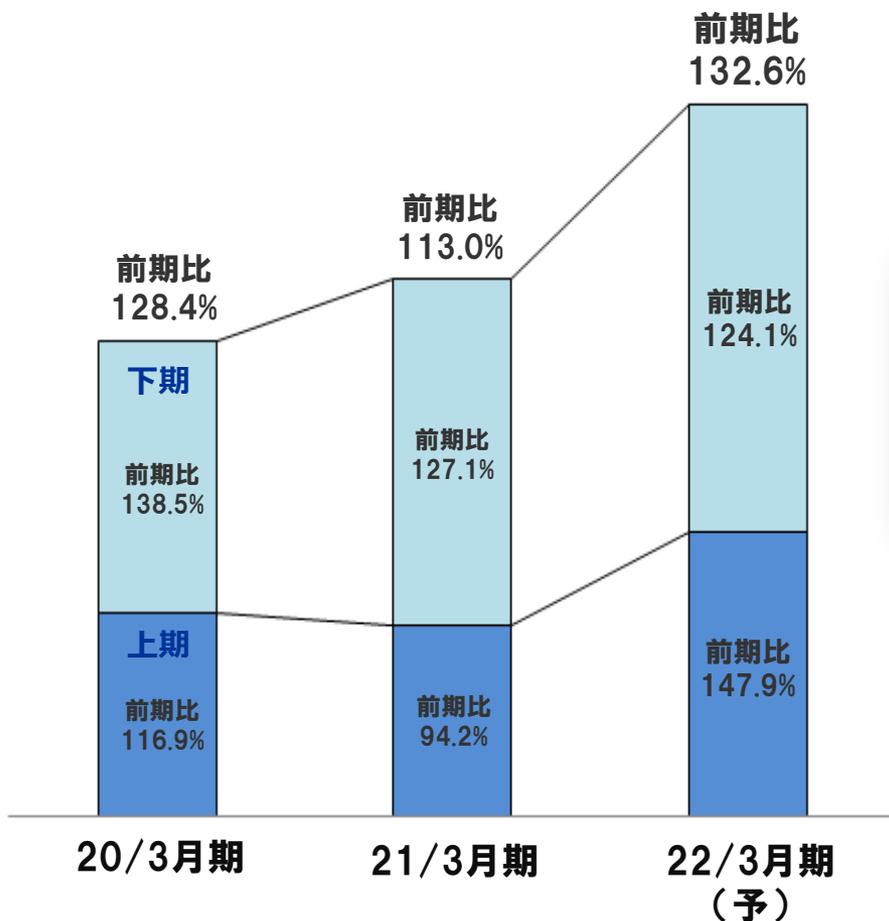


- ・ トイレの環境改善需要の獲得に向けて活動



学校トイレブース施工事例

【高耐震間仕切『Synchron（シンクロン）』 売上高】



・シンクロン対応商品の拡充



「EUP-Synchron」納入事例



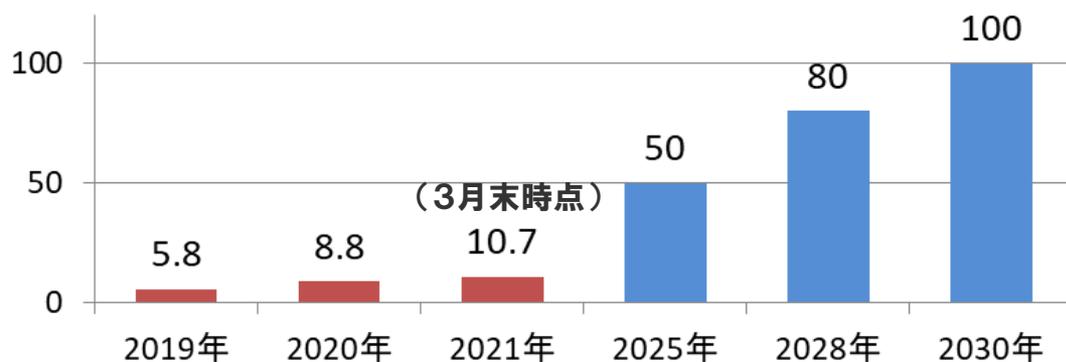
※加振試験の様子

高耐震間仕切「**Synchron**」導入による『災害時リスク軽減人数』
を納入㎡数から独自に算出

約107,850人の災害時リスク軽減に寄与 (2021年3月時点)

(単位：万人)

～『災害時リスク軽減人数』累計～



- ・ 「Synchron」技術をすべて公開し、**業界全体で災害時リスクの軽減**を目指す
- ・ 2030年までの納入を通じて**100万人の災害時リスク軽減**への貢献を進める

我々の事業としての社会的インパクト ⇒ 災害時のリスク軽減に連動

参考資料



社是

我等の精神は人道と友愛である

経営の理念

全従業員の物心両面の^{しあわせ}幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献する

- 商号 コマニー株式会社 COMANY INC.
- 本社 石川県小松市工業団地一丁目93番地
- 設立 1961年（昭和36年）8月18日
- 代表者 代表取締役 社長執行役員 塚本 健太
- 資本金 71億21百万円
- 従業員数 （連結）1,252名 （単体）1,102名
- 事業内容 パーティション（間仕切り）の開発、設計、製造、販売および施工
ならびにパーティション関連の内装工事、建具工事
 - 建築工事業 国土交通大臣許可（特-26）第3669号
 - 内装仕上工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
 - 建具工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
- 株式市場 東証二部 名証二部 証券コード：7945
- 株式総数 9,924,075株
- 取引銀行 北陸銀行、北國銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行

（2021年3月31日現在）

- 1961年 8月 小松キャビネット株式会社設立
- 1970年 6月 社名を株式会社コマツパーティション工業に変更
- 1980年12月 パーティション業界 売上高第一位達成
- 1984年11月 社名をコマニー株式会社に変更
- 1985年11月 デミング賞実施賞中小企業賞を受賞
- 1989年11月 株式を名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1991年 4月 子会社キャップ株式会社(のちにコマニーエンジニアリング株式会社)を設立
- 1996年10月 1996年度 T P M優秀賞第一類を受賞
- 1996年12月 格満林国際貿易(上海)有限公司を設立
- 1997年 5月 株式会社コマツフラッシュ(現クラスター株式会社)を子会社化
- 1999年10月 1999年度 T P M優秀継続賞第一類を受賞
- 1999年12月 ISO9001認証を取得
- 2001年11月 ISO14001認証を取得
- 2007年 4月 南京捷林格建材有限公司を子会社化
- 2012年 2月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を設立
- 2015年 6月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2016年 9月 ユニバーサルデザイン折り戸「Dear-d(ディアード)」が2016年度グッドデザイン賞を受賞
- 2017年11月 ISO9001およびISO14001認証を2015年版に更新
- 2018年 4月 子会社コマニーエンジニアリング株式会社を吸収合併
- 2018年 4月 「コマニーSDGs宣言」を表明
- 2018年 4月 国連グローバル・コンパクトに署名
- 2018年 8月 健康経営優良法人2019(ホワイト500)を認定取得
- 2019年 2月 「コマニーグループ人権方針」を策定
- 2019年 6月 小松市と「SDGs推進に関するパートナー協定」を締結
- 2019年 6月 次世代認定マーク「くるみん」を取得
- 2019年10月 やさしいドアシリーズが2019年度グッドデザイン賞を受賞
- 2019年10月 再エネ100宣言RE Action 加入
- 2019年11月 グリーン購入大賞(大企業部門) 受賞
- 2020年 1月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を譲渡
- 2020年 3月 健康経営優良法人2020を認定取得
- 2020年 3月 JMAQA AWARDS 2020受賞
- 2020年 4月 SBTイニシアチブから認定
- 2020年 7月 FSC認証を取得
- 2021年 3月 「石川県ワークライフバランス企業」知事表彰を受賞

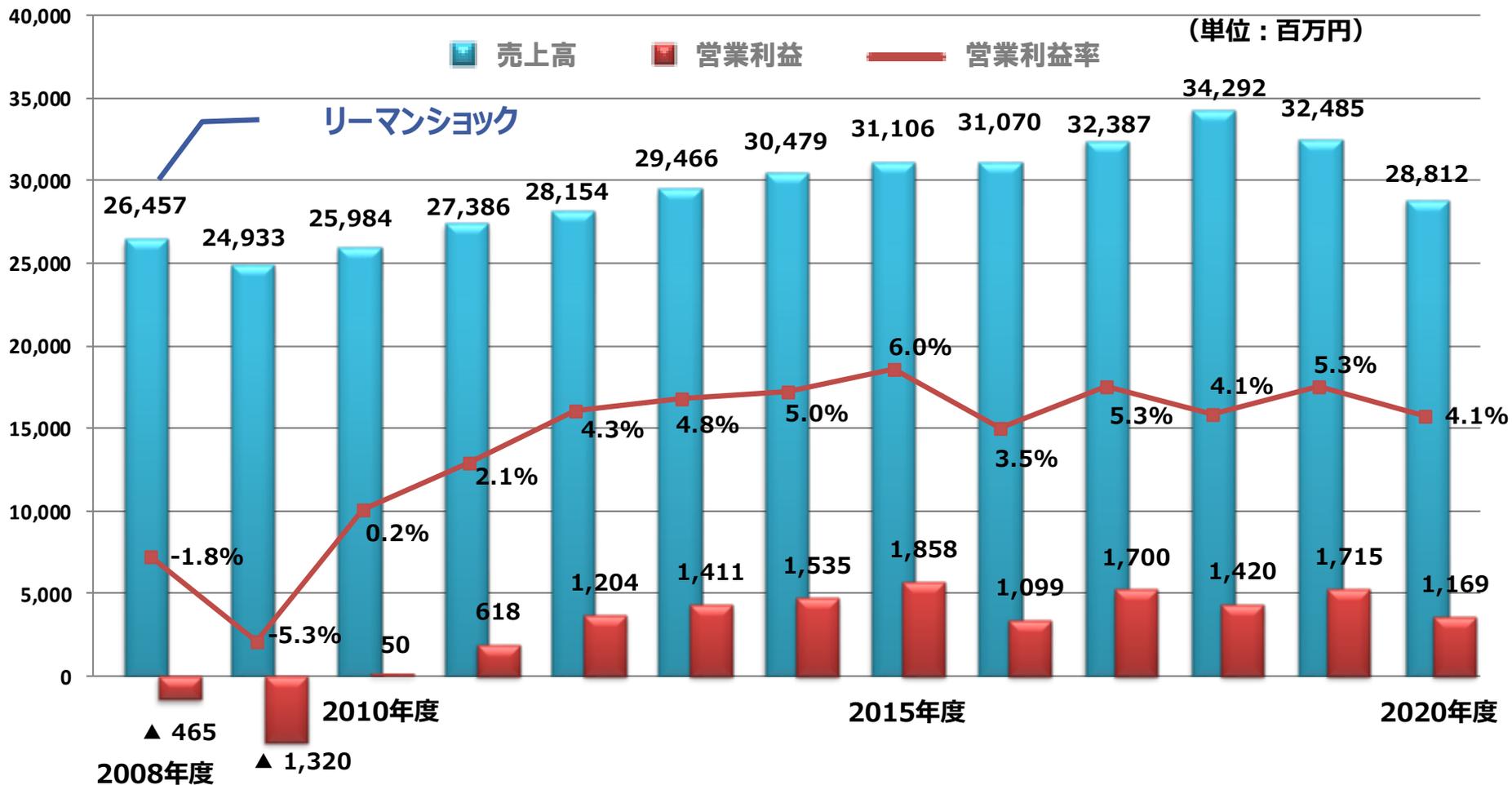


Empower all Life

「Empower all Life」をコマニーロゴにつくタグラインとして刷新

「Empower」に続く三角形のアイコン  「Empower Triangle」は右上がりの造形そのものが「未来」「持続的成長」をイメージしており、コマニーがさらに伸びていく姿勢と、新しい時代に進む意志の強さ、次なる時代に息吹を与え続ける熱い思いを象徴しています。

連結業績の推移 (売上高・営業利益)





<ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。